

フタツバトゲセイボウ *Elampus bidens tristis* Tsuneki

【選定理由】

人工林の増加に伴い生活環境が改変されたことと、元来少ない個体数であったことが重なり著しく減少した。

【形態】

体長 7～9mm。体色は黒色から青黒色で後楯板に明瞭な突起を持つ。頭部や胸部には粗大点刻を密布する。



福岡県, 大草伸治 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

北設楽地方の山林に生息しているが、記録は少ない。

【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

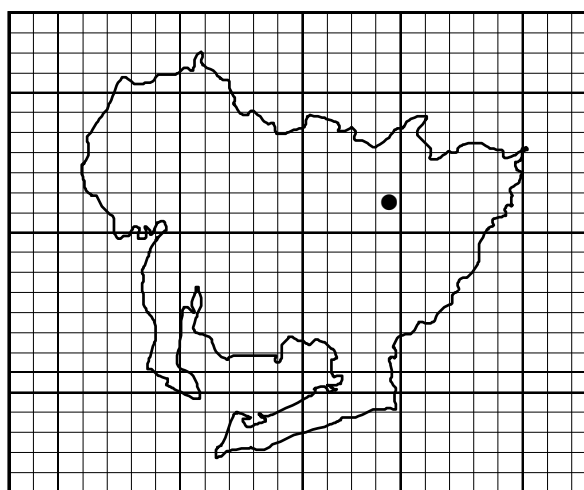
【世界の分布】

欧州。

【生息地の環境／生態的特性】

山地で低木の葉上に静止していることが多い。ヒメジョオン（キク科）などに訪花することもある。ハチ目に寄生するが寄主は未だ不明である。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

諸開発による山林の減少と植林による森林の単純化により生活の場が減少している。

【保全上の留意点】

良好な山林の育成が望まれる。

【関連文献】

豊明市史編集委員会, 2003. 豊明市史資料編補 7 自然目録, 354pp.

(2009年版を一部修正)